発行所　加治木町役場
発行人　緒方明男
編集者　中元邦夫
印刷所　吉屋印刷所

本年度産米の売渡目標は七、三八〇石

新米は乾燥が第一

―規格に外れると大きな損―

昭和三十年度よりはじまつた米の予約売渡制度は、今年で四年目を迎えることになり、生産者も消費者も一応この制度になれ有益であることを支持し成果をあげています。

しかし、この制度も農家の絶えざる努力がなくては守ることが出来ないと思います。御承知のように、稲作は日本農業の大宗であり農家収入の重要なる根源であります。また、国民のもつとも大切な食糧であります。それ故にわれ〳〵の経済に重要なる影響を及ぼし、歴代政府も米穀政策の樹立とこれが運用には絶えざる苦労を重ねております。

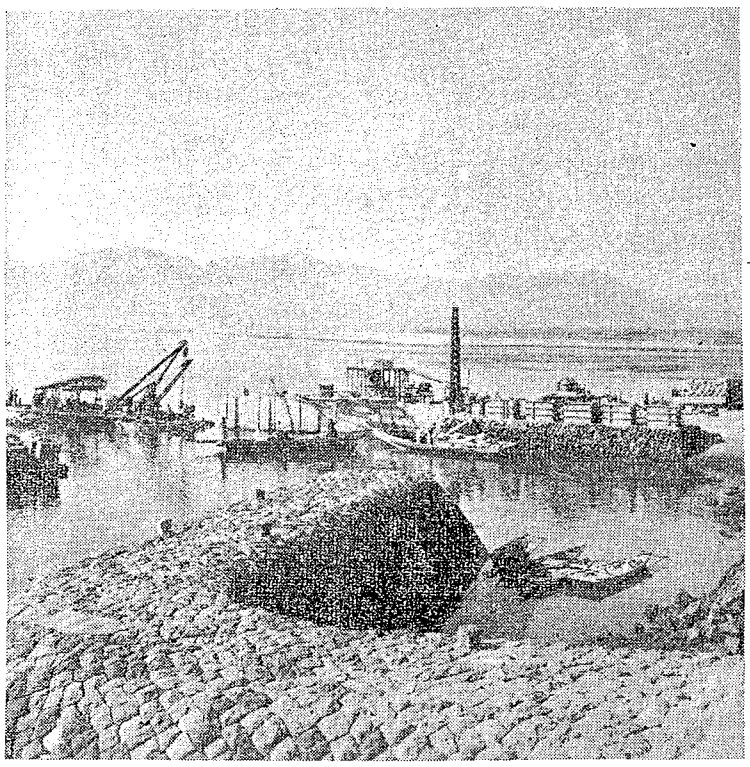
さて、本年度稲作は気象の好条件にめぐまれて、近年にない豊作で農家のみなさんには収穫調整に毎日忙しいことゝ思います。折角出来た米を有利に販売するため今後は乾燥調整に充分注意されて最後の仕上げを大切にしてください。

県が本町に割当てました予約売渡目標は七、三八〇石で、これに対し四、八四八・七石の低予約率でありましたが、本町の過去の実績をみますと六・〇〇〇石内外の米を出荷した年もあり、町経済課、普及所、検査所、農業委員会及び農協と各種関係機関が一体となり集荷の促進と産米改善に努力いたしております。

余剰米は必ず政府に売渡し、今後の農業振興のもとでとされるようおねがいします。

なお、本年産米価は昨年度と殆んど同額であり現在のヤミ米価格より有利な事は申すまでもありません。また、予約米以上に売渡しされることを予想し、農協倉庫も整理され皆様の米が上位等級で搬入される日を待つております。

（経済課長）


写真説明＝すゝむ加治木港湾工事現場

二戸一枚配付
早目に回覧下さい

12月14日に町内柔道大会

町体協主催公民館後援の町内柔道大会が来る十二月十四日午前九時三〇分から警察署道場で行われます。希望者は奮つて参加ください。

一、申込みは町公民館へ十二月十二日五時まで。
二、試合方法中学、高校一般の部に分けて行います。詳しいことは公民館又は町柔道部長（加高米良教諭）あて照会ください。

くらしと計量

尺貫法〝廃止〟ヤード・ポンド法

買物をする時は

◎商品の量目と品質と値段をよく考えて買物しましょう。

◎正味量を表記してあるものを買いましょう。

◎正味量の表記してないものは必ず正味の量目を調べて見ましょう。

◎銭目当で買わないで量目当で買いましょう。

◎一盛一袋一俵一匹一箇などと見掛買いせず量目当で買いましょう。

◎混ぜ物水吹などで量目を増したものもあるから、気をつけましょう。

◎実量買で値段に迷わぬよう。

◎はかりのむだ目が正しく合わされているかどうか注意しましょう。

メートル法への利益は

☆学校教育がそのまま社会生活に通用する。☆科学の成果はすぐ生産に結びつけられる　☆家庭も合理化がしやすくなり、ひいては科学への関心が高められる。☆産業では機械などの装置が単純となり作業が数量的によくわかつて、能率が高められるなど利益があるわけです。

（商工係長）

着々進む
加治木港湾工事

加治木町の舌出港（加治木港）は、鉄道の開通以前は、北隅の物資の集散地として重要な役割を果し、船の発着はとても盛んで、郡内首位の良港とされていた、しかし、明治三十一年日豊線の開通により次第に昔の面影はなくなり、近年設備の改善が強く要望され、数年前からこの問題解決には、町当局としても数回に亘る各関係方面への陳情により遂に加治木港の重要性を認められ、こゝに三十三年度から三ケ年計画で事業がすゝめられることになつた。

工事費は一、五〇〇余万円で、本年度は第一期工事四五〇万円の予算で去る十月上旬から県営工事として工事に着手立派な港ができつゝある。

香典返しを寄附

次の方々から忌明お礼として、町福祉協議会たすけあい資金と育英奨学資金へ多額の御寄附をいたゞきました。

御芳情有難く拝受し、町民皆様と共にお礼申し上げたいと存じます。

寄附者御芳名

◎育英会へ
神村浩（萩原）
一、〇〇〇円

◎福祉協議会へ
楠森浩二（吉原）
一、〇〇〇円
大西善太郎（錦江町）
五〇〇円
花牟礼一二（西之原）
五、〇〇〇円
椎屋満彦（港町）
二〇〇円
藤崎セキ（田中）
一〇、〇〇〇円
渕脇文雄（本町）
一、〇〇〇円

なお、椎屋さんの場合本資金を借入され今度完済に際し、お礼として拠金されたもの。

納税強調月間

町の財政確立のためみなさんの御協力を

11月25日から12月25日まで

税務行政は地方自治団体の持つ最大の自主的財源であることは申すまでもありません。

税金は公共事業として道路、橋、学校、福祉等の福利増進のため使われ、結局、町民の皆さん方に完全なる運営と進展は望まれるものではありません。

本町においては町民皆さんの深い理解と協力によりまして町税の徴収も逐次成果を上げつゝありますが、昭和三十三年度に於ける十月末日現在の税収入を見ますと、予算額に対し六〇％の収入済となつておりますが、諸税収はその地方財政の支柱をなすものでありまして、地方公共事業遂行にいささか支障を来たしている現在であります。

税務課では、毎日税収の確保に努力をいたしておりますが、町民皆さんの協力なくしては初期の目的を果すことは困難でありますので、町といたしましては十一月二十五日より十二月二十五日までの一ケ月間にわたり納税強調月間を実施いたし皆さんの協力を得て滞納整理に全力を尽したいと考えております。どうかこの期に滞納のある方は是非納付下さいまして明るい新年を迎えるようお願いいたします。

（税務課長）

町内の各商店
―来春より定体制へ―

商店経営、労働者能率向上と保健衛生改善のため、県下では鹿屋市を初め鹿児島市、川内市あたりでも月一回の定休日を決め実施しているようでありますが、加治木商工会では去る十一月五日基準局側と懇談会を開き、来春より毎月十五日を定休日に決め、町内各商店が休業する事になりました。

消費者の皆様方にはなれない内は、御迷惑をかけますが我々年中無休で働く中小企業者の意を察し下さいまして、お買物はその先日にお買い上げ下され、この趣旨に御協力下さるよう御願い申し上げます。

（商工会事務局長）

来春就学の子供さんをおもちの方へ
～手続きに必要な住民登録～

昭和二十七年四月二日より昭和二十八年四月一日までに出生した子供さんをおもちの保護者は来年四月一日より小学校に就学させる時期になりました。

憲法第二十六条の②にすべて国民は法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う、義務教育は、これを無償とする。又教育基本法第四条（義務教育）国民はその保護する子女に九年の普通教育を受けさせる義務を負う、と、うたわれておりますとおり、町教育委員会では十二月一日現在をもつて住民票により学令簿謄本を作成しなければなりませんので、先に各嘱託員の方を通じ学令児童の調査方を依頼いたしましたが、住民登録をしていない方又、住所を変更されて住民票の住所を変えずそのままの方が多く事務処理上非常に困っておりますので、すみやかに手続を完了されるようお願いします。

なお、本年六月十日に学校保健法が制定せられ町教育委員会で就学時の健康診断を行うことになり、入学二ケ月前までにこれを完了する予定です（今までは学校が行なつていた）検査の項目は次のとおりですから入学時までに病気はなおし、健康な体で入学出来るようお願いします。

一、身長及体重。
二、栄養状態。
三、脊柱及び胸廓の疾病及び異常の有無。
四、視力、色神及聴力。
五、眼疾、耳鼻咽頭疾患及び皮膚疾患の有無。
六、歯の疾病及び異常の有無。
七、その他の疾病及び異常の有無。

（町教育委員会事務局）

公平委員決る

公平委員市来操氏の任期満了に伴い、さきほど開かれた町議会で後任として矢野辰次氏を承認した。任期は四ケ年で三十七年十月十二日までとなつている。

陸海空士自衛官募集中

一、募集人員
二等陸士約七、〇〇〇名
二等海士約二五〇名
二等空士約七五〇名
計　約八、〇〇〇名

二、応募資格
昭和九年三月二日から昭和十六年三月一日までの間に生れた者（昭和三十四年三月一日現在満十八才以上二十五才未満）

三、試験科目
中学校卒業程度の筆記試験（国語、数学、社会）及び身体検査と面接

四、募集日程
受付　昭和三十三年十一月二十日より昭和三十四年一月十四日まで
試験　昭和三十四年一月二十日より二月五日まで
入隊
陸士　昭和三十四年三月下旬
海士　昭和三十四年三月以降
空士　昭和三十四年三月以降

▲志願票は役場総務課又は各支所にあります。

12月行事予定

一日　狂犬病予防注射
二日　〃
五日　町長選挙
六日　町長選挙開票
八日　狂犬病追加接種
十日　農業委員会
十六日　秋そさい品評会
教育委員会
社会教育委員、公民館運営審議員会
二十二日　農業委員会
二十七日　御用納め

結婚シーズンを迎えて

柿やみかんが店頭を飾る頃ともなると、都市も農村も結婚シーズンに入ります。

冠婚葬祭の冗費の節約は生活改善の大きな問題であり、中でも昔からの習慣に引きづられて色々不合理と無駄をおかしている結婚式の簡素化は、最も重要で緊要な事柄であります。毎年この季節になりますと、決つたように結婚の簡素化が新聞やラヂオで報道されたり、婦人会の会合などでも課題として毎年くり返されていますが、その反面実行が伴わない原因はどこにあるのでしょうか。

勿論、ひと頃に比べたらハデな式典や披露宴は影をひそめたようですがまだまだ見栄や因習にとらわれたりして、多額の無駄が費やされているようです。

そこで、結婚の簡素化を阻むものは何か、ということですが、それには大体次のようなことがあげられます。

1、封建的な家族制度が根強く残つているため家柄とか格式にとらわれすぎている。

2、結婚する娘さんの自覚がたりない。一品でも多く持つだけ持つてゆくという考えが不急不用の品を数多く調整させる結果となる。

3、市町村間の均衡がとれていない。例えばお嫁さんの村は結婚簡素化のとりきめが行われ実行されていても、嫁ぎ先の町がそうでない場合がある。

4、指導的立場にある人とか、双方の両親に理解のある場合は良いが経済的に余裕のある人とか〃一生に一度の事だ〃式の、古い考えがあるところではうまくゆかない。

5、この運動が若い人達の自主的な運動となつてない。

要するに無駄な出費をなくして、新家庭を中心とした建設的な結婚式でありたいものです。

結婚という人生の出発点なればこそ、より堅実にありたいものです。

今年こそは結婚の簡素化に全力を集中し、一切の無駄を排除するようお互いに努力いたしたいものです。

加治木町公民館結婚式御案内

現在まで式を挙げられた方は58組

加治木町公民館として公営により結婚式を公民館で挙行するようになつたのが昭和二十八年の二月で、現在まで行われた結婚式は五八組となつておりますが、町民皆様の御理解をいただくために式次第とか経費等について簡単にお知らせします。

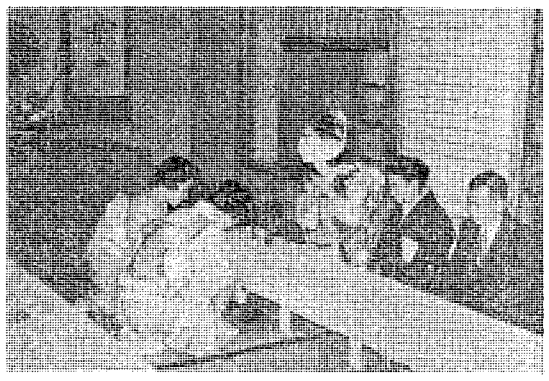
一、式場
1、中央公民館日本間
2、安国寺分館

二、衣裳
振袖　二組

三、式次第（所要時間二十分～三十分）
1、開式のことば……係
2、司婚の辞……教育長
3、契りの盃……奏楽
4、誓詞……新郎
5、結婚記念録署名
6、閉式のことば……係

◎契りの盃
契りの盃は新夫婦のみの盃をいたします。
小笠原流の略式によつて、上の盃だけを用い、新婦～新郎～新婦で納めます。盃の前に差上げる昆布、するめをうけるために懐紙を御用意下さい。
なお、お酌人がおりますが、適当な方があれば参列者の中からお出し下さつても結構です。その方法はお教えいたします。

◎誓詞　―（一例）―
本日、加治木町公民館において、私達二人は結婚の式典を挙げ、夫婦の契りを結ぶことになりました。今後は互いに終生変ることのない信と愛とをもつてよい家庭生活を創造建設し、之を通して社会に寄与貢げんする覚悟であります。
私達は、このことに生涯をかけて努力いたしますことを、こゝに謹んでお誓いいたします
昭和　年　月　日
山田一郎
和子

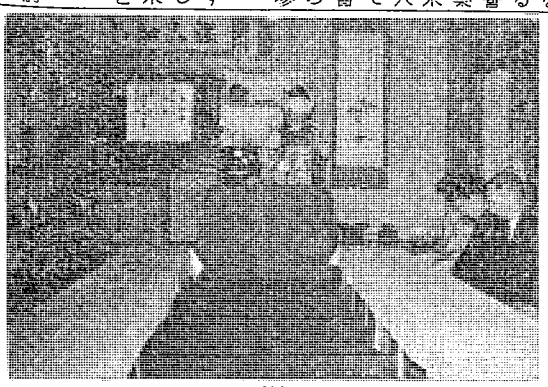

（契りの盃）

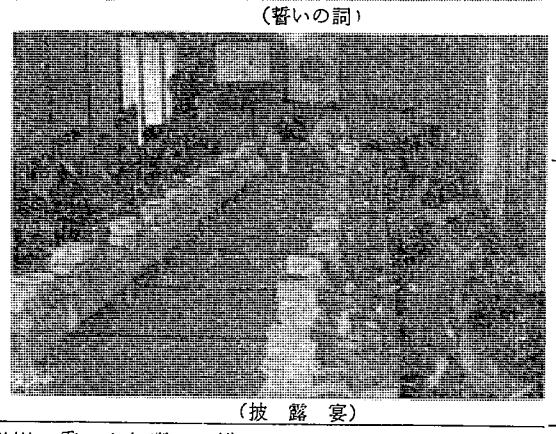
新生活を建設する二人の誓いの言葉は、出来れば二人が考えて作り清書して式の当日持参して頂いた方がよいと思いますが、公民館で用意いたします。これは新夫婦で末永く保存して頂きたいと思います。

◎記念録
記念録は二人の御名前永久に保存いたします。

四、披露宴
人員は挙式の主旨により出来るだけ二五名程度にとめて頂きたいと思います。

五、費用
◎挙式料　五〇〇円
（式場、その他使用料）
◎式服料金
振袖　五〇〇円
（小物草履を含む）
◎化粧着付料金
振袖　一、三〇〇円
（かつらを含む）
一、二〇〇円
◎御写真
（焼増一枚につき一五〇円）
◎御祝宴
一人前二〇〇円程度
（五品）
◎諸雑費　七〇〇円
酒は一人に付二合、焼酎は一合程度、米は一人一合五勺御持参下さい。
細部は御両家媒酌人の方と打合せてきめることになりますが、御利用の方は申込みをなるべく早目に、おそくとも一週間前までに公民館へ御相談下さい。
（公民館長）

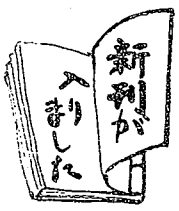

（誓詞）


（披露宴）

図書館だより

永い收穫期もどうやら供出の段階となり、やーれやれというところ、大変ご苦労さまでした、何十年来かの豊作とかで、これまた一息つけて、コタツを囲んで、冬の夜を楽しくお過しのことと思います。

ときに、コタツといえば常に考えているしまた機会あるごとにおすすめしていることがあります。それは何んでもないことで、コタツの上に本をおくことです、壮年婦人、青年、児童向きの本をいつもおくようにすすめています、全国の読書週間は終りましたが、地方では繁忙期のため、期間をずらしています、この冬期が、読書に最も適した期間であると思いますので、コタツグループを是非おすすめします。グループは隣家または家族だけで結構です、特点として、本の貸出期間も永くなりますし、御相談に応じます、本代はいりません。



婦人にすすめる図書
新しい性、女はこれでいいのか、友情と恋愛、高校生に関する百の質問日本の母子関係、酒の肴これからの生活改善、あじあの人々、これからの家と家族、世界芸術ものがたり、子供に聞かせる五〇の有名なはなし、妻は歌う、雨にも風にも、女は度胸、愛は死をみつめて、女性支配の未知の国、美しいことばと正しい話し方、話しの進め方、新劇女優、家庭教師（一年～六年）

一般図書
鹿児島の歴史、現代用語の基礎知識、一日一善知恵のことば、日曜大工大学生はだか記、話し合いの方法、時事年鑑、現代教養全集2、国民文学名作集、渇き、富士の初雪、慕情の旅、石坂洋次郎集、吉川英治集、石川達三集、幸田露伴集、近松浄瑠璃集上、現代詩集平家物語、明治名作集二大正名作集三、昭和名作集六、王朝物語集二、ドイツの執念、精神の玩具旅人、佐藤春夫集、男性飼法、夢に罪あり、はだか人生、それからの武蔵四～六、絶唱、少年朝日年鑑、言わなければよかつたのに日記、宿命の壁

児童図書
世界幼年文学全集、少年少女ファーブル昆虫記全八巻、
（図書館長）

考える農業への転換（十）

農業改良普及事業の方向

戦後わが国の農政史に農地の解放、農業協同組合法、農業改良助長法と三大改革がなされてから普及事業も、今年で十周年を迎えまして去日県でも十周年記念式典が盛大に挙行されました。

この普及事業も最初の頃は種々取り沙汰されたこともありましたが、現在に至つては深く農村に根を下し普及員も農家の信頼と敬意を受けこの事業が発展する糸口を見いだしたことは一重に農家の皆さんの御協力と町当局を始め関係機関の御援助の賜と深甚の敬意を表する次第であります。

従来普及員の勤務する場所を普及事務所とか、改良事務所とか呼ばれていたのですが、今春第二十八国会に於て農業改良助長法の一部改正が行なわれ、地区の法制化が実現したのであります。本県でも今年の十月二十一日附を以て農業改良普及所を設置することになり九の地方と四十七の地区の普及所が出来たわけであります。

加治木地区農業改良普及所は、加治木町、隼人町、溝辺村、の三ケ町村を管轄し所長以下一〇名の農業改良普及員と二名の生活改良普及員が配置されている、農業改良普及員は大体一人当り八〇〇戸位の農家を、地域を分けて担当しており、生活改良普及員は三、〇〇〇戸～四、〇〇〇戸を担当しておることになります。

改良普及員の仕事は皆さんも御承知のように、農業技術の改善普及と農業経営改善普及、生活改善技術の普及、農村青少年等のグループ育成と大別されるのですがその外町村役場や農協、その他関係団体への協力活動がありますが、性格としては権力行政（取り締）でもなく補助金行政（奨励事業）でもない、普及事業は農民教育行政と言えるわけです。普及事業は人に仂きかけながらものの関係を変える仕事であると言えましょう。普及事業の対象は農業であり農村であり、農家であり農民でありまして、普及員は農民の立場に立つて農民の課題解決を助言援助する仕事であります。

農民又はその集団の課題解決能力をいかんなく発揮させる任務を以ておるわけであります。

新しく発足した普及所が、過去の町村駐在制度から中地区活動として発展するには幾多の問題はありますが逐次関係町村の協力や国費により機動力等の整備をはかり中地区制の妙味を発揮すべきであると信じます。

（過去十回に亘る考える農業への転換の稿を終ります。）

加治木地区農業改良普及所長
松岡　登記夫

もし。もし。電話局からお願いがあります

話が終つたら必ず終話信号を

電話局から一言お願いいたします。当局の電話交換方式は、磁石式でございますので話が終つて終話信号をしていただきますと、終話表示器が開金等で迷惑をおかけすることになります。話が終つたら必らず終話信号をして下さい。

市外通話の申込みについて

市外通話をお申込になるとき局が出ましたら「市外」とおつしやつていただきますと受付係（記録係といいます）が出てあなたの番号おかけになる局名、番号を発信交換証に記録して誤りを防ぐため反覆いたします、反覆のときよくきいていただいて誤り防止にご協力願います、万一局名や番号に誤りがありますと接続がおくれ迷惑をおかけすることになります。

なおお客様には電話についての問合せや、交換取扱についての要望、苦情等が多いことと存じます、どのようなことでもご遠慮なく申出下さい。

選挙管理委員が決りました

選挙管理委員の任期が満了になりましたので、さきほど開かれた町議会で選挙により次の四氏を選任しました。向う三ケ年いろ〳〵と選挙の仕事をしていて下さる方々です。

なお、第一回委員会で委員長に入佐俊興氏を決めました。入佐俊興、湯川俊憲、坂部久雄、榎谷栄助の四氏。

14日に町内駅伝―町青年団―

町青年団では、去る十一月二十六日午后五時から協議員会をひらき次の事項を審議決定した。

(1)町内一周駅伝～十二月十四日午前九時～三十分から役場前で開会式を行う。コースは役場前をスタート①下小山田②二里塚③辺川④永原⑤岩下八幡～木田）須崎を経て⑥役場前着

②そさい品評会～十二月二十二日野菜市場で行うことに決定、受付は午前十時まで。

③郡女子青年研修会には本町からも参加する。

農村文化祭で穂満政行氏表彰さる

第一回農村文化祭は去る十一月二十二日出水市で盛大に行なはれ、その席上本町上木田部落穂満政行氏が表彰されました。氏は二十一年満州から引揚げ、農業に従事、農民として将来の明るい豊かな農村建設を目指して農に励みながら部落幹部しとて、又水稲増産同好会長、果樹振興会長、酪農協同組合役員として本町産業発展のためつくされたもので、町内青壮年に与えた影響も大きいものがあります。